

港の見える丘公園（拡張部）の埋蔵文化財発掘調査成果について（速報）

1 趣旨

「港の見える丘公園拡張事業」にかかる公園整備に伴い、令和2～3年度に実施した発掘調査で、旧アメリカ海軍病院の建物基礎が発見されました。これらの遺構については、文化財保護法に基づき、記録を行いました。今後遺構を現地で保存し、続いて公園整備を行うため、令和4年3月より遺構を埋戻す予定ですが、調査結果について皆様にお知らせします。

2 発掘調査の内容

埋蔵文化財発掘調査は、調査範囲を慎重に掘り下げ、遺構の検出、遺物の取り上げ、実測、写真撮影を実施して、考古学的に記録を行うものです。

3 発掘調査の期間

第1期：令和2年12月～令和3年3月

第2期：令和3年7月～令和3年11月

4 発掘調査成果の概要

発掘調査で一部検出された旧アメリカ海軍病院の遺構は、建物の基礎・床面・ライフラインが良好に残っており、当時の煉瓦建築技法や技術を理解する上で貴重な遺跡です。

白一色のタイル壁や『U. S NAVAL HOSPITAL』の印が施された磁器片など、アメリカ海軍病院ならではの特徴を示す遺構・遺物が発見されています。

アメリカ海軍病院遺構の面積：約 500 m²



①遺構の全体



②旧アメリカ海軍病院 建物煉瓦基



③旧アメリカ海軍病院 鉄管



④旧アメリカ海軍病院 タイル壁



⑤旧アメリカ海軍病院 遺物（ガラス瓶）



⑥旧アメリカ海軍病院ロゴ 遺物（磁器片）



⑦旧アメリカ海軍病院 遺物（膿盆、尿瓶）



⑧井戸



⑨縄文時代集石

5 旧アメリカ海軍病院について

旧アメリカ海軍病院は、米国東洋艦隊のための医療施設として1872（明治5）年に建設されました。今回発見されたものは1909（明治42）年に建て替えられた2代目のものです。この2代目のアメリカ海軍病院は、下田菊太郎（1866-1931年）が設計した古コロニアル様式の2階建ての建物でした。その後1923（大正12）年の関東大震災によって倒壊しました。



「図説横浜外国人居留地」所収
横浜開港資料館所蔵

6 今後の対応

遺構については、現地保存をするために埋戻します。今後の公園計画の中で、遺構の一部を活用することについても検討していきます。また出土品の詳細については、現在調査中です。令和4年度にとりまとめ次第、報告書を閲覧できるようにする予定です。

7 お問い合わせ先

公園拡張整備事業について： 環境創造局公園緑地整備課 Tel 045-671-2652

埋蔵文化財について： 教育委員会事務局生涯学習文化財課 Tel 045-671-3284